

議会だより



9月の
定例会

② 令和2年度決算
総額278億円の成果を認定!

⑥ こんなことが決まりました
9月定例会

⑩ ズバリ!! 町政を問う
3議員が質問

⑱ 全員協議会報告
帰還困難区域の復興・再生に向けた
政府の取り組みについて確認!!



富岡町議会の
ホームページはこちら

疫病退散! 願いよ叶え / 昨年度製作 三春園舎園児

令和2年度
決算

総額278億円の成果を認定!

【一般会計223億円、特別会計55億円 合計 278億円】

令和2年度
決算審査

【引き続き適切な予算要求、前例に囚われない柔軟な創意工夫を求める】
坂本代表監査委員の審査意見

令和2年度決算は、約278億円の決算規模となっているが、総体的には概ね適切に事務処理が行われたものと判断する。予算編成にあたっては、明確な事業計画に基づく精密な予算見積りによる予算計上、情勢の変化にともなう更正や追加を適宜行い、安易かつ過大な予算要求は厳に慎むとともに、予算主義の原則を厳守し、適切な予算要求を行い、予算執行にあたっては、引き続き前例に囚われない柔軟な創意工夫により、地方自治法の趣旨である最小の経費で最大の効果をあげるよう努めていただきたい。

定例会の
あらまし

令和3年9月定例会は9月14日から16日まで3日間の会期で開催しました。報告案件7件に加え、人事案件や動産の取得案件、工事請負契約の締結及び変更案件、令和2年度決算認定、令和3年度補正予算など24件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では3議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いただきました。

【アーカイブ施設整備事業】



R3.7.11 とみおかアーカイブ・ミュージアム 開館

富岡町アーカイブ施設整備事業費 6億8,729万円
全体事業費(概算)19億7,906万円中の令和2年度支出分

【道路新設改良事業】



R3.5.13 汐橋(うしおばし)開通

道路新設改良事業費 10億4,551万円
(整備工事費 他)

【地域交流館整備事業】



R3.3.28 富岡わんぱくパーク 開館

地域交流館整備事業費 4億4,011万円
全体事業費(概算)5億7,811万円中の令和2年度支出分

【共生型サポート拠点整備事業】



共生型サポート拠点整備事業費 1億1,844万円
全体事業費(概算)17億5,060万円中の令和2年度支出分

【防火防犯パトロール事業】



富岡町防火防犯パトロール事業費 2億3,388万円
(委託料 他)

【営農再開支援事業】



営農再開支援事業費 1億3,073万円
(補助金 他)

Pick Up!

【中小企業等支援事業】



中小企業等支援事業費 3,883万円
(新型コロナウイルス感染症対策奨励金 他)

【カントリーエレベーター整備事業】

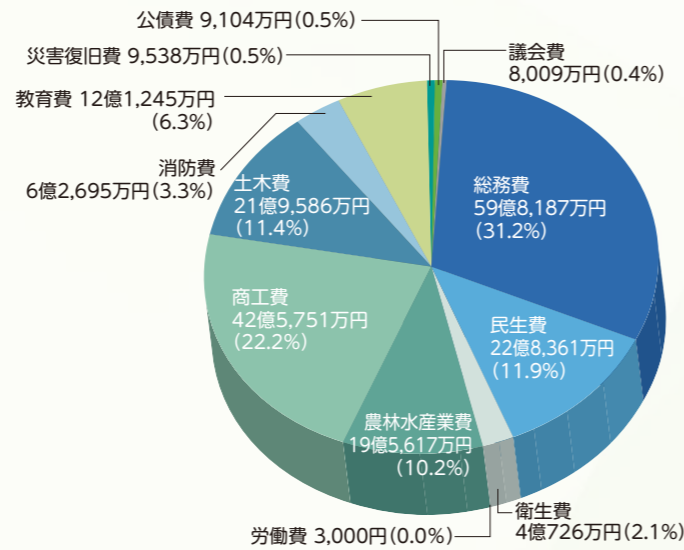


カントリーエレベーター整備事業費 1億1,929万円
全体事業費(概算)18億4,961万円中の令和2年度支出分

歳出(支出)の主なもの

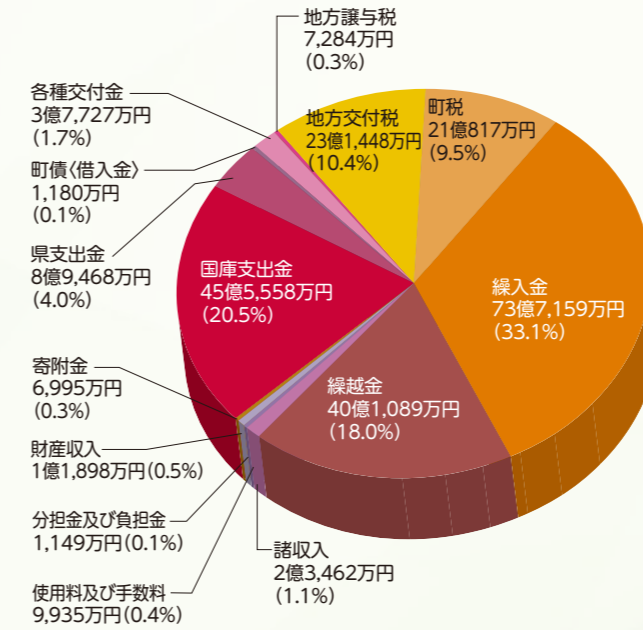
- 総務費 (一般的な管理に要する経費、徴税费や選挙費なども含まれる。)
 - 59億8,187万円
- 民生費 (町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費)
 - 22億8,361万円
 - ・ 社会福祉費 14億5,441万円
 - ・ 児童福祉費 7億1,064万円
 - ・ 災害救助費 1億1,856万円
- 衛生費 (町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費)
 - 4億726万円
 - ・ 保健衛生費 2億6,300万円
 - ・ 清掃費 1億3,445万円
 - ・ 上水道費 981万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興に要する経費)
 - 19億5,617万円
 - ・ 農業費 14億5,169万円
 - ・ 林業費 2億3,231万円
 - ・ 水産業費 2億7,217万円
- 商工費 (商工業の振興に要する経費)
 - 42億5,751万円

歳出(支出) 191億8,819万円



- 土木費 (道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費)
 - 21億9,586万円
- 消防費 (防犯防火に要する経費)
 - 6億2,695万円
- 教育費 (教育に要する経費)
 - 12億1,245万円
- 公債費 (町の借金返済に要する経費)
 - 9,104万円

歳入(収入) 222億5,169万円



- 地方譲与税 (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金)
 - 7,284万円
- 各種交付金
 - 3億7,727万円
- 地方交付税 (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部)
 - 23億1,448万円

歳入(収入)の主なもの

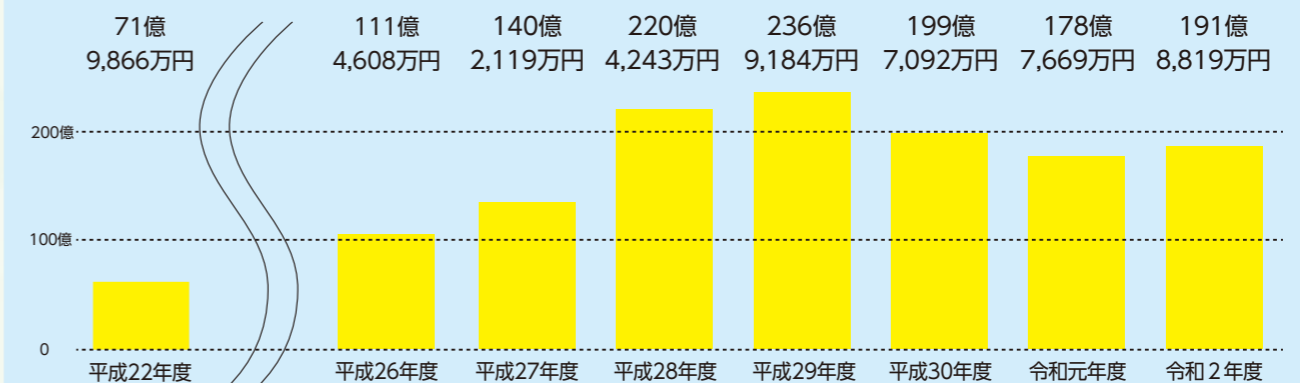
- 町税 (皆さんが町に納めた税金)
 - 21億817万円
 - ・ 町民税 8億7,496万円
 - ・ 固定資産税 11億3,319万円
 - ・ 軽自動車税 2,311万円
 - ・ 町たばこ税 7,691万円
- 繰入金 (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金)
 - 73億7,159万円
 - ・ 特別会計繰入金 1,759万円
 - ・ 基金繰入金 73億5,400万円
- 繰越金 (前年度から繰り越されたお金)
 - 40億1,089万円
- 諸収入 (雑入など、その他の収入)
 - 2億3,462万円
- 使用料及び手数料 (住民票などの手数料収入)
 - 9,935万円
- 国庫・県支出金 (特定の目的のために国や県から交付されたお金)
 - 54億5,026万円
 - ・ 国庫支出金 45億5,558万円
 - ・ 県支出金 8億9,468万円

【令和2年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で認定】

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	蛇谷須特環下水道事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
歳入	222億5,169万円	55億2,018万円	25億7,769万円	1,235万円	5億6,131万円	1億9,972万円
歳出	191億8,819万円	51億410万円	23億8,901万円	1,235万円	5億4,084万円	1億5,118万円
歳入歳出比較	30億6,350万円	4億1,608万円	1億8,868万円	0円	2,047万円	4,854万円

会計区分	特別会計				合計
	曲田土地区画整理事業	介護保険事業	後期高齢者医療事業	介護サービス事業	
歳入	2億7,586万円	18億3,293万円	5,329万円	703万円	277億7,187万円
歳出	2億1,900万円	17億3,370万円	5,198万円	604万円	242億9,229万円
歳入歳出比較	5,686万円	9,923万円	131万円	99万円	34億7,958万円

【震災前の平成22年度から令和2年度までの一般会計歳出決算の推移】



**大畑孝さんを
富岡町固定資産評価審査
委員会委員に再任**

富岡町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、大畑孝さんの再任を可決しました。

任期は、令和3年10月1日からの4年間です。

(9月定例会 原案可決)



坂本 和久さん

人事案件

**坂本和久さんを
富岡町監査委員に再任**

富岡町監査委員の任期満了に伴い、坂本和久さんの再任を可決しました。

任期は、令和3年10月13日からの4年間です。

(9月定例会 原案可決)

**坂本和久さんの
ごあいさつ**

ただいま皆さまの同意のもと、監査委員となりました、坂本和久です。

私の住んでいたところは、まだ帰還困難区域で、令和5年春に解除になります。周りの家は取り壊され、野原となっています。

そのように富岡町は問題を山ほど抱えております。そのような中、皆さまと一緒に富岡町の明日を切り拓くために、微力ではありますが、頑張っていきたいと思っております。

皆さまのご指導、ご鞭撻、よろしくお願いいたします。



- 選管委員および
同補充員を選出**
- 選挙管理委員4名および同補充員4名を選出しました。
- 任期は、令和3年9月28日からの4年間です。
- (9月定例会 原案可決)
- 選管管理委員**
- 中田 寛さん (夜の森南)
 - 坂本久美子さん (西原)
 - 遠藤 則政さん (高津戸)
 - 郡山 泰明さん (上郡)
- 補充員**
- 猪狩 隆さん (上本町)
 - 西山 栄子さん (岩井戸)
 - 横田 貢一さん (赤木)
 - 猪狩 富行さん (下郡山)

**「文化交流センター 舞台照明設備
更新工事」**

一部老朽化した各種ライトのLED化や機器の交換とのことだが、重量が変わることでの耐震性や安全性は。(佐藤啓憲)

答 生涯学習課長
強度等につきましては、仕様で問題がないことを確認しております。

「水槽付消防ポンプ自動車購入」

一輪駆動のオートマチック車であるが、機動性や今後の使用年数を考えると、マニュアル車で四輪駆動が良いのでは。(渡辺三男)

答 生活環境課長

消防団幹部との協議のもと、当町の天候環境や、四輪駆動となると総重量が8tを超え、運転可能な人員が限られてしまうということから、このような仕様となりました。



**「富岡町文化交流センター舞台照明
設備更新工事(2期工事)」**

照明設備の老朽化と関係機材の生産終了及びデジタル化に対応するため付帯設備の更新、また、一部老朽化した各種ライトのLED化と機器を更新する工事について、可決しました。

(9月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和4年2月28日
- 金 額 5,533万円
- 契約相手方 宮城県仙台市青葉区五橋1丁目6番2号
KJビルディング
株式会社松村電機製作所
東北支店

**「富岡町カントリーエレベーター
整備事業建築工事」**

富岡町カントリーエレベーター整備事業建築工事の工期の変更について、可決しました。

(9月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 工 期 (変更前) 令和3年9月30日 (変更後) 令和3年11月30日
- 変更理由
・工事工程に変更が生じたため工期を変更。



整備が進められるカントリーエレベーター

**「富岡町総合体育館受変電設備等
改修工事」**

令和3年2月の地震で被害を受けた際の体育館改修工事に合わせて、老朽化した受変電設備、非常用発電機、高圧ケーブルの入れ替えを行う工事について、可決しました。

(9月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和4年3月11日
- 金 額 5,927万9,000円
- 契約相手方 富岡町大字本岡字関ノ前74番地の2
ワタナベ電建株式会社



富岡町総合体育館

「水槽付消防ポンプ自動車購入」

富岡町消防団に配備する水槽付消防ポンプ自動車の老朽化に伴い、ポンプ性能減衰による消防力の維持が困難なこと、製造元での正規部品の供給不可により修繕が困難なこと等により、水槽付消防ポンプ自動車を購入することについて、可決しました。

(9月定例会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 取得予定価格 4,930万2,000円
- 契約相手方 いわき市内郷綴町金谷15番地4
東部産業株式会社自動車部
- 購入物内訳
・水槽付消防ポンプ自動車 1台



こんなことが**決まりました**。



動産の取得

一般会計
補正予算

移住・定住の推進・コロナ対策等による増額
《6,764万円を増額補正》

移住・定住の推進及び新型コロナ対策等による増額計上等により6,764万円の増額補正を行い、総額145億1,137万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
備品購入費(役場庁舎、支所へ設置のサーマルカメラ)	280万円増
移住・定住推進事業委託料	4,352万円増
システム管理運営費(通信運搬費、システム構築事業委託)	1,078万円増
公共用施設整備基金積立金(廃炉交付金)	4,000万円減
被災地域農業復興総合支援事業(用地購入費)	882万円増
商業拠点施設整備事業費(備品購入費)	139万円増
桜まつり事業(委託費)	1,837万円減
道路維持管理事業費(町道維持管理工事費)	4,980万円増
曲田土地区画整理事業特別会計繰出金	5,771万円減
その他	6,661万円増

令和3年9月定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要	結果
◆同意案件	
議案第75号 富岡町と双葉町との下水道事業に関する事務の委託に関する規約について	全会一致 原案可決

※ 9月定例会における「人事案件」「動産の取得」「工事請負契約」「工事請負契約の変更」「令和2年度決算」「令和3年度補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。各議案の内容については富岡町ホームページにて報告しておりますので、ご参照ください。

議員が切り込む!! 質疑応答

〔一般会計補正予算〕

問 給食業務委託において、委託の際に県内産、町内産の農産物を使うなど、地産地消を目指してほしい。(遠藤一善)

答 教育総務課長
米やタマネギなど、地産地消を意識しています。産業振興課や学校とも協議し、取り入れていく方向で話が進んでいます。

問 今後の交流人口拡大のためにも、富岡町を知ってもらうためのパンフレットの充実や、施設への案内看板の設置を強化するべきと考えますが。(宇佐神幸)

答 産業振興課長
今後、地元農家とも協力していきます。

問 パンフレットについては、随時新しい情報を更新するとともに、現在関連事業所や飲食店に配布していますが、更に範囲を広げられるよう検討します。

答 都市整備課長
案内板や標識について、全体的に案内ができるような見直し、精査をしていきます。

交流館、アーカイブ・ミュージアムを視察
現状を確認!!



令和3年9月15日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。調査実施箇所は、交流館「富岡わんぱくパーク」および、とみおかアーカイブ・ミュージアムです。現地では、来館者の居住地の割合や、館内設備や来館者へのコロナ対策についての質問、また、地域のお年寄りが利用しやすいよう周知する要望などが出されました。(交流館)各担当より説明を受けた後、議員はそれぞれ館内を見て回り、職員へ質問をする等、設けられた時間いっぱいを使い、現状の確認をしました。

富岡町地域交流館
富岡わんぱくパーク



交流館の館内で説明を受けました

とみおかアーカイブ・ミュージアム



アーカイブ・ミュージアムのホール



入場前に、全員が体温をチェックします



富岡町に関する様々な展示があります



職員への質問や意見も飛び交いました



担当職員から説明を受けながら視察しました



佐藤 啓憲 議員

問 予想される感染再拡大の備えは

答 円滑なワクチン接種が重要

答 健康づくり課長
重症者の入院調整は県内の医療機関で対応しています。また、宿泊病床

答 町長
円滑なワクチン接種が感染拡大防止に対して極めて重要であると考えており、町内医療機関と丁寧な協議しながら、通常医療の継続とワクチン接種の両立にご協力をいただいております。国が目標とする11月には希望する町民に対して概ね接種が完了するものと見込んでおります。

問 移動制限の緩和と変異株の増加による感染再拡大が予想される。それに伴う医療逼迫の対応をどのようにしていくのか。

を増やす対応を広げていますが相対地区は遅れているため、自宅療養も含めて対応することになります。

問 家族が陽性になった場合、買い物もできない状況になるが、自宅療養者に対するサポートは検討されているか。

答 健康づくり課長
町からの支援として、保健所から要請があれば食糧や日用品など、いつでも対応できる体制をとっています。

問 不特定多数の利用者がある施設においてモニター付きサーモカメラの設置や不要不急の県外移動における感染の早期発見のため、抗原検査キットを配備してはどうか。

答 総務課長
第6波以降も考慮し、庁舎及び支所にサーモカメラの設置を計画しています。また、検査キットの使用につきましては、ウイルス検出に一定の期



アーカイブ・ミュージアム(左)と学びの森(右)の入口に設置されているサーモカメラと消毒

問 デルタ株による子どもの集団感染に起因した家族感染が問題視されている。学校や子ども園での更なる対策強化は。

問を要するため利用方法は限られますが、今後の提供体制については検討します。

問 特定復興再生拠点解除の課題は

答 線量低減に向けた除染解体の遅れ

問 令和5年春の安心安全な拠点区域解除に向けて、更なる線量低減を国に対し強く要望してほしい。

答 町長
解体の申請期限を示しながら除染解体の促進を図り、所有者の要望に沿ったフォローアップ除染になるよう、環境省に強く要請します。

問 防犯対策や生活環境の整備状況は。

答 生活環境課長
街路灯は270灯をLEDに修復予定であり、防犯カメラと夜間警備の体制強化を含め検討しています。



整備が望まれる拠点区域内のつつみ公園の状況

答 企画課長
交通弱者への支援として、移動販売車の運営を検討しています。

問 住民との協議の場は計画されているか。

答 町長
避難指示解除が具体的に見えてきた段階で、議会をはじめ町民の皆さまに協議いただける機会を設けます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う



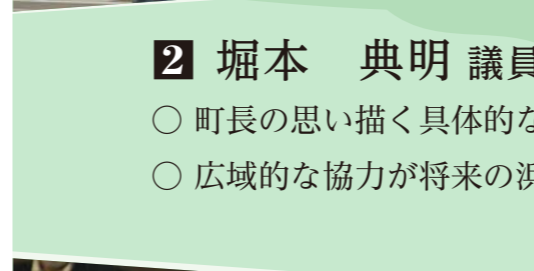
3議員が質問

9月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 佐藤 啓憲 議員 11

- 予想される感染再拡大の備えは
- 特定復興再生拠点解除の課題は



2 堀本 典明 議員 12

- 町長の思い描く具体的な政策は
- 広域的な協力が将来の浜通り復興への近道では



3 高野 匠美 議員 13

- 男女共同参画推進の現状について
- 子どもを預けられる施設確保は



山本 育男 町長



岩崎 秀一 教育長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから



高野 匠美 議員

問 男女共同参画推進の現状について

答 女性の意見を反映し計画を見直し



問 生きがいのある社会を目指す上で重要な課題「人が生き、町が活き、未来がいきる富岡町」をつくる上で男女共同参画を進める必要があると考えるが。

答 町長 東日本大震災、原子力発電所事故以降、残念ながら見直しを行うことができませんでしたが、今後災害復興計画との整合性を図りながら女性の意見を十分に反映し、計画の見直しを行ってまいりますと考えております。

問 移住、定住の結果が出てくるのは相当先だろうと感じている。避難している町民を守る責任があり、基礎自治体としては行政サービスをしっかり継続していく必要がある。合

問 町長の思い描く具体的な政策は

答 産業、暮らし、教育を重点的に



堀本 典明 議員

問 今後4年間の町政運営について、町長の思い描く具体的な政策は。

答 町長 産業としては農業復活へのチャレンジや、民間企業との協働による地域農産物等を活かした商品の研究開発。暮らしとしては帰還促進と移住促進に取り組むため、お試し住宅から始める富岡暮らしや民間賃貸住宅の長期一括借上げなどによる安定的な公共住宅の提供。教育としては放課後児童クラブ等の開設や子どもたちの個性を大切に伸ばす生涯学習プログラムの作成、学力向上を図る学習環境の充実などに取り組みます。

問 一部地域の避難指示解除後、町内居住人口も徐々に増加しているが、全国的に移住、定住の事業があり、震災前のようなにぎわいを取り戻すのは難しい状況である。今後近隣町村との合併も検討する必要があると考えるが、現在の町長の合併に関する考えは。

答 町長 近隣町村との合併については地域が持続的に発展していく上で意識せざるを得ない状況となっておりますが、この地域全体が本格的な復興に向かうためには各自自治体の置かれている様々な状況を相互に理解し、連携を密に、協力し合うことから始めていくことが重要と考えます。

問 移住、定住の結果が出てくるのは相当先だろうと感じている。避難している町民を守る責任があり、基礎自治体としては行政サービスをしっかり継続していく必要がある。合

答 町長 近隣町村との合併については地域が持続的に発展していく上で意識せざるを得ない状況となっておりますが、この地域全体が本格的な復興に向かうためには各自自治体の置かれている様々な状況を相互に理解し、連携を密に、協力し合うことから始めていくことが重要と考えます。

問 一部の優先順位は高いのでは。

答 町長 個人的な考えでは、近い将来とは言えませんが、遠い将来には合併ということがあるのだとは考えております。



富岡町男女共同参画まちづくり基本計画のしおり等

問 近年、自然災害が多発しており、災害時に女性の視点を活かし、反映する体制が求められる。現在、町の防災分野に女性委員はあるのか。また、今後女性委員を増やす施策等は考えているのか。

答 生活環境課長 現在、地域防災の委員に女性の登用はありませんが、今後、女性の意見を挙げていただく機会を設けると共に、女性の登用も考えてまいります。

問 近年、自然災害が多発しており、災害時に女性の視点を活かし、反映する体制が求められる。現在、町の防災分野に女性委員はあるのか。また、今後女性委員を増やす施策等は考えているのか。

答 総務課長 現在、積極的に女性の管理職登用を行っております。また、定期的な内部独自研修によって知識の習得・学習をする機会を確保しております。女性職員に限らず、職員の意欲とキャリア形成の一助となるよう、内部研修の充実を図ります。



問 男女共同参画に取り組むためには、まず男性の理解と協力を得るための啓発や、女性の積極的な参画のための意識啓発を推進する事が大切と考える。まず町においては、役場での管理職等に女性の登用を進めていただき、今後の方策は。

答 総務課長 現在、積極的に女性の管理職登用を行っております。また、定期的な内部独自研修によって知識の習得・学習をする機会を確保しております。女性職員に限らず、職員の意欲とキャリア形成の一助となるよう、内部研修の充実を図ります。

問 男女共同参画に取り組むためには、まず男性の理解と協力を得るための啓発や、女性の積極的な参画のための意識啓発を推進する事が大切と考える。まず町においては、役場での管理職等に女性の登用を進めていただき、今後の方策は。

答 総務課長 現在、積極的に女性の管理職登用を行っております。また、定期的な内部独自研修によって知識の習得・学習をする機会を確保しております。女性職員に限らず、職員の意欲とキャリア形成の一助となるよう、内部研修の充実を図ります。



新型コロナの影響により、慎重な検討を要するリフレ富岡跡地の利用計画

問 町では現在、健康増進施設の検討をしているが、町民からは反対や慎重の意見も少なくない。この施設について、現在の町長の考えは。

答 町長 新型コロナウイルスの影響により、社会情勢が大きく変化しており、現在見込んでいた年間の集客目標や収支計画を達成することは困難であり、施設整備について再度慎重に検討する必要があります。

問 広域的な協力が将来の浜通り復興への近道では。

答 誘致など地域全体で取り組んでいく

※男女共同参画とは男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によつて社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もつて男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会です。
(男女共同参画社会基本法第2条)

問 イノベーション・コースト構想での各市町村で行われている各種事業を広域的に協力しながら、浜通りがひとつになって取り組むことが将来の浜通りの復興への近道になると考えるが、広域連携について町長の考えは。

答 企画課長 全国的に再生可能エネルギーへの関心が高まっております。水素ステーションにつきましては、浪江町を中心に様々な協議をしているところですが、需要と供給の兼ね合いや、水素の安全性の確立をしていくことも重要と考えており、実用化に踏み込めない状況ではありますが、しっかりと協議を進めたいと思っております。

問 一例として、浪江町で大規模水素エネルギー研究フィールドというような事業が始められているが、例えば当町においても水素ステーションを設置して水素の利用促進をしていくような考えはあるのか。

答 町長 関連拠点施設間の連携はもちろん、地元企業の参画や、研究者や企業の誘致など、地域全体で取り組んでいくことが大切であると考えております。

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、こども園、幼稚園、小中学校等が休校となった場合、ひとり親世帯や共働き世帯では休業を余儀なくされることから、町独自の支援や子どもを預けることのできる施設確保等の対策を考えているのか。

答 教育長 今後、休校措置が必要となった場合において、保護者のご意見を丁寧に伺い、学校施設でお預かりする等、それぞれの家庭の状況を勘案して必要な支援に努めてまいります。

問 子どもを預けられる施設確保は

答 児童クラブ来年度早々開設へ



「郡山震災アーカイブ」より、ビッグパレットにおける女性専用スペースの記録画像

問 自然災害発生時避難所において新型コロナウイルスの感染が発生した場合の人事配置等の対策について、町では細かくシミュレーションしているのか。

答 生活環境課長 町では、症状のある方の誘導や、間仕切り等の設置など、避難所における感染防止対策のシミュレーションを含んだ職員訓練を実施しています。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜ふるさと納税について＞

Q 本年よりふるさと納税の返礼品を開始したとのことだが、返礼品の品目は。また、ふるさと納税を利用した方とのつながり維持の方法は。

A 主な物として、お米、パッションフルーツ、富岡町で作付けされたお米の日本酒、とみっぴーグッズ、お墓の掃除、敷地内の除草や木の剪定など。
つながり維持のため、これまで同様町の復興状況などの文書も併せて送り、つながりを持てるよう続けます。



町のホームページからも、ぜひ確認して欲しいっぴ♪



【総務課】

＜まちづくり構想基本調査について＞

Q まちづくり構想基本調査委託料の内容は。

A ①「帰還困難区域を除く避難指示解除済み区域の空き家実態調査」

移住定住の促進に向けた空き家の利活用及び空き家の適切な管理に向けた外観調査を実施し、空き家候補が692件、その内、特定空き家候補が32件、その予備軍が63件等と確認し、今後空き家等対策計画の策定の基礎資料として活用します。

②「帰還困難区域も含む街路樹基本調査」

町道約160kmの沿線にある街路樹についてを把握する基本調査です。桜やハナミズキなど、全体で1390本の街路樹を確認しており、今後データベース化をして管理台帳を整備することにより、都市整備課における街路樹の管理や、産業振興課と連携しながら四季を通じた町全体をどのように魅せていくのかの基礎資料として役立てます。

③「富岡駅前複合交流施設の予備調査」

施設の機能のあり方や整備費、ランニングコスト等の試算を行っています。



【企画課】

＜生産者への配慮を＞

Q カントリーエレベーターの工期が延びたことにより、農家や町への負担等はあるのか。稲刈りの時期や収穫量に違いがあっても責任を持って対応するよう要望する。

A JA福島さくらと連携・協力し、今年産米についてはJAが手配する運搬車により富岡町から浪江町のカントリーエレベーターに搬送し、運搬費等、営農者への負担はありません。また、営農者の皆さんにJAと町とでしっかりと説明をしていきます。 【産業振興課】

所管外の説明でこんな質疑がありました！

＜生徒への放射線教育について＞

Q 小中学校において、放射線教育は行われているのか。また、学校の敷地や建物の放射線量はそれぞれ測定・記録はしているのか。

A 毎月11日を防災安全の日として継続的に教育を行っています。線量の測定につきまして、これまで三春校・富岡校ともに養護教諭が行っていましたが、現在は中学生が順番に毎朝測定及び記録を行っています。室内につきましては1階および2階のホールをそれぞれ測定・記録、室外につきましてはモニタリングポストの値を記録しています。



ホールでの測定を行う富岡校の生徒



【教育総務課】

＜とみおかアーカイブ・ミュージアムの今後の展開について＞

Q とみおかアーカイブ・ミュージアムが開館したが、広く知ってもらえないと足を運んでもらえない。今後、双葉町の伝承館との連携の計画や、各施設等でのPRなどは行っているのか。また、もっと原子力発電所の事故の悲惨さを伝え訴えることができるような展示をすべきでは。

A 連携の企画展などは模索中です。PRにつきましては各施設へのリーフレット配布などを行っており、定期的に確認をしながら広報を図っていきます。展示につきましては富岡町の歴史や特性、特徴を踏まえて、事故によってどのように日常が変わったかを伝えるような展示になっています。今後も工夫・検討をしていきます。



災害対策本部や町の桜の様子



複合災害に関する資料



避難所の映像

【生涯学習課】



総務文教常任委員会の様子

- 議会議務局
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 出納室
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 【所管課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜公園維持管理事業について＞

Q まちづくりの拠点として、夜の森公園を一年中、人でにぎわいができるような場所にして欲しい。また、防災設備を有する災害公園としての機能を加えるなど、複合的な計画をして欲しいと考えるが。

A 夜の森公園については、地区のイメージアップにつながるような明るく開放感がある公園にしていく考えです。
今後の事を踏まえまして、各課等で連携をしながら横断的に進めてまいります。



今後、整備の検討が進む夜の森公園内の状況



【都市整備課】

＜準備宿泊に向けての整備を＞

Q 準備宿泊に伴う整備について、町民の安全のためにも舗装沈下等をしっかりと整備し、遅れることのないよう進めてもらいたい。

A 安全に通行できるよう、パトロールを強化し、復旧工事の進捗等に合わせながら、適宜対応していきます。

【都市整備課】

＜コイン精米機の利用時間延長を＞

Q コイン精米機の導入にあたり、19時終了では早いのではないかと。利用時間の延長は可能か。

A 檜葉町・浪江町においても同じような時間帯で展開していますが、今後JAと協議を行い、検討します。



さくらモール駐車場北側に設置されているコイン精米機

【産業振興課】

＜地域交流館での清掃や消毒の状況は＞

Q オープン以来、町外からの来館者も含め利用者が増えていると思われるが、消毒やボールプールの洗浄等の状況は。

A 毎月1回、休館日にあわせて業者を入れての全体清掃を行っています。ボールプールにつきましても、ひとつひとつ機械で清掃を行っているところです。今後はボールの交換もしながら、指定管理者と相談して回数を増やすなど対応をいたします。また、館内については、空き時間に職員が施設や遊具等の消毒を行っています。



機械で吸い込み、ひとつひとつ清掃しています



子どもたちに人気のボールプール

【福祉課】

＜ハザードマップの充実を＞

Q ハザードマップにある浸水箇所等の危険箇所について、道路周辺に目印をつけるなどで、新たに転入した町民にも分かりやすく。

A 浸水想定区域や避難所への案内など必要と考えます。他自治体の例なども参考にしながら、協議して啓発に努めます。



浸水危険箇所の注意喚起看板(原下跨道橋西側)



【生活環境課】



産業厚生常任委員会の様子

- 健康づくり課
- 福祉課
- 郡山支所
- いわき支所
- 生活環境課
- 農業委員会
- 都市整備課
- 産業振興課
- 【所管課】

<帰還への思いに寄り添う政策を>

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について

(環境省)

問 放射線まとめサイトや広報とおおかにおいて検証結果や定点測定値を掲載しており、今後とも周知徹底を図ります。

答 生活環境課

問 評価する線量として地表から1メートル、除染後に地表から1センチで測定しています。また、学校のように子どもが多く利用する場所については地表から50センチ部分でも測定しています。除染して下がるところは積極的に除染して下がっていきます。

答 環境省

(佐藤啓憲)



問 子どもの生活環境を確保していくとあるが、道路の路肩や歩道などの部分の線量が高いという検証報告がある。子育て世代が帰還・移住する場合、子どもの被曝線量が心配になってくると考えられる。除染による線量低減などの情報公開をして帰還や移住定住を考える人の安心材料としたいと考えるが。

◆特定復興再生拠点区域の整備状況を踏まえた立入り規制緩和について

(企画課)

問 今後の体制等について、現在の夜間警備体制を今後増台するか等も含めて、決まり次第報告します。

答 生活環境課

問 防犯防火対策について、結論は出ていませんが検討を進めています。

答 企画課

(渡辺三男)

問 立入り規制緩和の際のゲートの開放について、防犯上昼間だけの開放が望ましいのでは。

答 企画課

除染・解体工事の進捗が重要な判断基準となります。今後状況を見極めながら検討を続けます。

(遠藤一善)

問 立入り規制緩和から準備宿泊に向けてのゲートの解放を。また、立入り緩和が早くできれば準備宿泊開始も早くなるのでスピード感を持って。

◆移住定住促進事業について

(企画課・総務課)

問 移住定住に係るお試し住宅の疑似体験動画や町内施設の活用促進を含めた動画など、複合的に展開していく考えです。

答 企画課

問 PR動画とはどのようなものか。(宇佐神幸一)

答 企画課

まずは実績をつくり、着実に進めていくという中で町内全体に広めていくよう、今後もしっかり検討します。

(安藤正純)

問 富岡町全体の発展について、富岡駅前ばかりではなく、夜の森地区についても要望がある。

答 企画課

ひとつずつ、着実にとりくんでいきます。

(佐藤教宏)

問 移住定住については一足とびで進むものではないと認識。二歩把握に時間を割いて、急がず一歩一歩進めてもらいたい。



富岡町移住定住ポータルサイト「とみおかくらし」

帰還困難区域の復興・再生に向けた政府の取り組みについて確認!!

避難指示解除済区域における復興状況

令和3年9月8日開催の全員協議会において、帰還困難区域の復興・再生に向けた政府の取り組みについて、内閣府原子力災害現地対策本部より説明を受けました。



内閣府及び環境省

これまでの取り組み

【復興に向けた取り組み】

商業施設等の生活関連サービスや生活インフラの整備、産業団地等のにぎわい創出に取り組みました。

【移住・定住等の促進】

自治体支援や個人支援金を新たに設けるなど、帰還の促進に加え、新たな住民の移住・定住の促進や、関係人口の拡大に資する施策を行います。

現在

特定復興再生拠点区域内における整備状況

- ・2020年3月のJR常磐線全線開通に合わせ、双葉、大熊、富岡の拠点区域の一部(駅周辺)を先行解除しました。
- ・避難指示解除の目標時期は、双葉、大熊、葛尾は2022年春頃に。富岡、浪江、飯館は2023年春頃としています。

【富岡町の今後の予定】

- 2022年春頃 準備宿泊実施
- 2023年春頃 特定復興再生拠点全域の避難指示解除

これからの取り組み

特定復興再生拠点区域外の今後の方向性

- ・2020年代にかけて帰還意向のある住民が帰還できるよう、意向を個別に把握し、避難指示解除に向けた取り組みを行います。なお、「意向確認」→「除染」→「避難指示解除」のサイクルを複数回行うことなどを想定しています。
- ・避難指示解除に向けた具体的な作業等については、今後、地元の皆さまとご相談し、進めてまいります。

議員が切り込む!! 質疑応答



問 拠点外の住宅について、帰還意向者以外は解体・除染を行わないのは公平性に欠けるのではないかと。(安藤正純)

答 内閣府原子力災害対策本部
今回の政府方針としては、まず帰還をする住民を対象としていますが、残された課題は今後検討してまいります。

問 居住地等の状況も様々な中、なにをもって帰還意向とするのか。(遠藤一善)

答 内閣府原子力災害対策本部
住民の方の置かれていた様々な環境や事情を伺いながら、詳細は町とも議論しながら検討してまいります。

問 周辺住民が帰還せず除染されない場合、帰還しなくてもできない状況になる。全域除染すべきでは。(高野匠美)

答 内閣府原子力災害対策本部
全域除染するお約束できないのが現状です。まずは帰還したい住民に対応できる仕組みを作ってまいります。

問 拠点区域全ての除染が完了するまで準備宿泊の開始を延ばすなどの考えはあるのか。(堀本典明)

答 内閣府原子力災害対策本部
除染・解体が進まない現状へのお叱りと受け止めています。環境省や町とも連携し、極力完了に近づけるよう進めていきます。

多核種除去設備等処理

水の処分について徹底議論!!



説明をする内閣府及び東京電力㈱

これまでの基本方針に記載した対策を更に具体化し、必要な対策が追加されたことに関して内閣府原子力災害対策本部廃炉・汚染水・処理水対策現地事務所より説明を受けました。
また、政府の基本方針を踏まえた対応について、東京電力㈱から説明を受け、各委員からは厳しい意見が出されました。

政府の基本方針を踏まえた東京電力㈱の対応

放出する水が安全であることを確実にし、公衆や周辺環境、農林水産品の安全を確保する。

トリチウム以外の放射性物質については、何回でも浄化処理を行い、希釈放出前に第三者による確認を得る。

トリチウムの濃度は運用目標値まで十分な量の海水で希釈、年間放出量は当面22兆ベクレルを上限とする。

国内外への方々の懸念払しょくならびに理解醸成に向けて、正確な情報を透明性高く、継続的に発信する。

これまで以上に海域モニタリングを拡充・強化する。

発電所敷地内のタンクについては、漏えいの有無を継続的に監視し、将来の自然災害等に備え適切に保守管理する。

風評影響を受け得るさまざまな産業にかかる生産・加工・流通・消費対策に全力で取り組む。

対策を最大限に講じた上でもなお、風評被害が発生した場合には、迅速かつ適切に賠償を行う。



問 処理水に含まれる核種について、発信する際は事故由来の物質が何であるかを明確に示すべきでは。(安藤正純)

答 東京電力
今後、分かりやすく工夫してお示しします。

問 希釈後にモニタリングして放出するところがあるが、全量の検査をすることで安心につながるかと考えるが。(遠藤一善)

答 東京電力
トリチウムに関しては測定までに1日から1日半かかり、リアルタイムで測定することが困難なため、タンク内の測定済みである処理水と希釈のための海水の流量によって確認したいと考えております。



問 風評により、観光資源や観光地と見なされる場所を増やすことが難しい現状だが、地域おこしを踏まえてどのように考えているのか。(宇佐神幸)

答 内閣府原子力災害対策本部
地元の皆さまと連携して、一緒に風評が起らないよう魅力発信していきたいと考えています。

問 国では風評対策をしているが、大きく変わって一歩踏み出したように感じられない。処理水の危険性が低いということを広く周知するための手法はあるのか。(堀本典明)

答 内閣府原子力災害対策本部
情報発信はSNSなど様々なツールの活用をしています。パンフレットやリーフレットの活用もありますが、一方的な発信にならぬよう、現地浜通りに人を連れて来て体験してもらったり、発信力のあるインフルエンサーに魅力を発信してもらう等、今後も強化していきます。

問 風評に打ち勝つ強い事業者体力の構築への取り組みとあるが、強い事業者体力とはどのようなことか。また、小売業など、大きな流通だけでは解決しない部分がある事を忘れずに取り組んで欲しいと考える。(遠藤一善)

答 内閣府原子力災害対策本部
10年前の原子力発電所事故において、特に漁業者や加工流通業者の数が減少しました。現在、官民合同チームの相双機構が加工流通業者に個別に、必要な支援の聞き取りをしています。設備や販売ルートの確保など、ひとつひとつ要望を実現していくことが風評に打ち勝つ強い事業者体力の構築の一例と考えます。また、大きな流通業者だけではなく、もれがないよう聞き取りをして必要な支援をしていきます。

問 消費者の意見として、単独で女性の団体との意見交換会等の開催実績は。(高野匠美)

答 内閣府原子力災害対策本部
女性のみの団体ということにつきまして、経産省から主婦連合会への説明会を実施しました。また、消費者庁主催の説明会の

問 海水の流量から確認をして計算上問題がないとしても、実際にトリチウムの濃度が基準値を上回って放出した場合の対応は。(堀本典明)

答 東京電力
希釈流量がきちんと取れているかを必ず確認し、ポンプの不具合などで流量が取れていない場合は放出を止めるというインターロックを二重にかけていきます。

問 技術的に難しいと言っばかりでは、理解を得ることは難しいのでは。(高橋実)

答 東京電力
モニタリングを実施し、第三者機関による分析及び正確な情報公開によって、ご理解いただけるよう、手順をしっかり踏んでまいります。

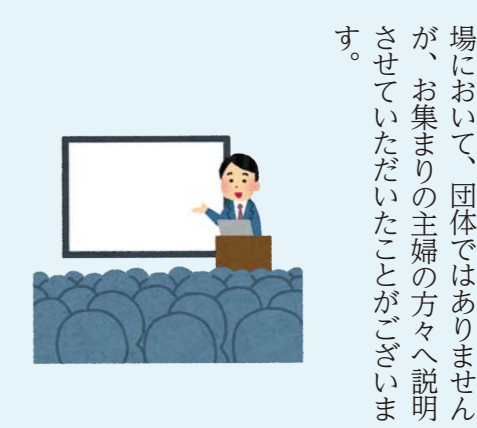
問 処理水を放出することで海中の核種の濃度や人体・環境への影響は。(渡辺三男)

答 東京電力
濃度につきまして、十分な流量での希釈により影響はほとんどなく、また、魚の飼育によるサンプリングの実施により、人体への影響もないことを評価しています。

保留されていた質問への回答がありました **Check!!**

Q ALPS処理水について、技術的に取り除くことが可能であれば、計ることができない限界未満まで取り除いてほしい。トリチウムや他の核種も検出限界値未満まで取り除くことができれば風評に与える影響も小さいのでは。(安藤正純)

A 他の原子力施設の排水と同様、トリチウムも含めて国が定めた「告示濃度比総和1未満(公衆や周辺環境、農林水産品の安全を確保するための尺度)」を満たすことで、放出する水が人や環境に有意な影響がない安全な水であることを確実にすることとしています。処理水中の放射性物質であるトリチウム他62核種及び炭素14の濃度を測定・評価した結果は毎回公表するとともに、第三者による確認を得ることで、客観性・透明性を確保します。



問 全世界からの理解を得るため、処理水放出の際は東京電力だけではなく国際機関等も分析するべき。また、分析を行った機関の公表も必要と考えるが。(佐藤教宏)

答 内閣府原子力災害対策本部
科学的根拠のある数字や、正確な数値の積み上げを発信することによって理解の醸成が深まると考えるが。(渡辺正道)

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのはいくと、富岡町が今どうなっているのかわからない』も解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送ってという声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも

2021. 8. 5
2021. 8. 6

宮本前町長・滝沢前副町長の退任、山本新町長の就任



退任された宮本前町長(中央)と滝沢前副町長(右)

宮本皓一前町長と滝沢一美前副町長の退任のお見送りのため、大勢の職員や歴代副町長が駆けつけました。

また、8月6日からは山本育男町長が就任され、新町長での体制が始まりました。



職員から花束を受け取る山本町長

2021. 8. 6

富岡町立小学校サマースクール

富岡町立小学校のサマースクールが、アーカイブ・ミュージアムにおいて開催され、麓山の火祭りの話を聞き、本物の松明の大きさや重さに驚く子どもたちの歓声が響きました。その後は段ボールで松明を作り、火祭りに思いをはせた時間となりました。



2021. 9. 17

ダイヤモンド婚・金婚 記念表彰

新型コロナウイルス感染症予防対策により、令和3年度の敬老会も中止となりました。町役場2階正庁において、ダイヤモンド婚・金婚表彰を執り行い、ダイヤモンド婚1組、金婚7組のご夫婦が表彰されました。



金婚を迎えたご夫婦の皆さん



ダイヤモンド婚を迎えたご夫婦

2021. 8. 18

富岡体験隊 『親子体験ツアー』

火起こし体験や富岡の海水からの塩づくり、放射線測定などを親子で体験しました。



2021. 9. 25

とみおか あさいち駅前マルシェ AKI-ICHI(秋市)

富岡駅前において、町内農産物の即売会「とみおか あさいち駅前マルシェ」が開催されました。富岡町の農産品や特産品、キッチンカーなど8店舗が出展し、随所に消毒やソーシャルディスタンスへの配慮などをされた会場は多くの来場者で賑わいました。



表紙と裏表紙にありますアマビエは、コロナ終息を願って夜の森幼稚園三春園舎の園児の皆さんが昨年度 製作したものです。現在、学びの森の入口に飾ってありますので、お近くにおいでの際は足をお運びください。(※壊れやすいため、お手を触れずにご覧くださいようお願いいたします)



ちひとと

みなさまの声

富岡町さくら文化・スポーツ振興公社から お話を聞かせていただきました。

Q. コロナ禍におけるイベント等の開催状況や、工夫されている点などがありますか。

A. 各地域(自治体)で防止対策が発出されている場合のイベントは延期または中止としましたが、開催にあたっては、バス運行において乗車定員の半数での運行を徹底し、イベントにおいても参加者の体温測定の実施やソーシャルディスタンスの確保、アルコール消毒、昼食の持ち帰りを徹底し、感染拡大防止に努めております。



Q. 「富岡わんぱくパーク」のオープンから半年以上が経過しましたが、運営にあたっての感想や今後の展望などお聞かせください。

A. 令和3年3月28日のオープンから半年を迎え、間もなく来館者数も1万名を超えようとしております。特に週末や祝日には、1日100名を超える来館者で館内も大変にぎわっています。新型コロナウイルスが収束した際には、県内外問わず幅広くご来館いただき、楽しく遊んでいただければと考えております。



富岡町さくら文化・スポーツ振興公社より一言

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、今後も定期的にイベントを開催していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

【公益社団法人 富岡町さくら文化・スポーツ振興公社】

〒979-1111 富岡町小浜 481 TEL 0240-22-2690 / FAX 0240-22-6778

営業時間 9:00~17:00(火・水・木は21:00) 祝日休館



公益社団法人富岡町さくら文化・スポーツ振興公社のホームページでは各種事業や、「おうちでできる体操」をはじめとする、公式 YouTube チャンネルのご案内などが掲載されています。ぜひご覧ください。

議会を傍聴しませんか？

- 12月定例会は、15日(水)~17日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

日増しに寒さが身にしみるようになりましたが、新型コロナウイルス感染症対策だけではなく、インフルエンザ対策など異なる体調管理が求められる大変な日々が続きます。

今回の議会報は、令和2年度富岡町一般会計及び特別会計の決算状況を掲載しております。復興・地方創生の実現のため、震災以前とは比べものにならないほど大きな決算規模となっており、改めて地方自治法の趣旨である最小の経費で最大の効果を上げられるよう、議会としても気持ち十分に引き締め、取り組まなければなりません。今後の議会活動を皆様に見ていただくためにも、引き続き分かりやすい広報紙づくりに努めてまいりますので、ご意見ご感想等ありましたらお寄せください。(佐藤 教宏)

発行責任者

議長 高橋 実

議会報編集特別委員会

委員長 高野 匠美

副委員長 佐藤 啓憲

委員 佐藤 教宏

委員 堀本 典明

この印刷物は、FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

